

2020年（令和2年）10月19日

市民の皆様

藤沢市長

鈴木 恒 夫

（ 公 印 省 略 ）

「市民生活に関する意識調査」へのご協力についてのお願い

日頃から、市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、藤沢市では、概ね20年先を見据えつつ、直近の4年間に重点的かつ確実に実施すべき施策を位置づけた「藤沢市市政運営の総合指針」を策定しています。

この総合指針の評価や今後の改定に向けて、市民の皆様が市政に対して感じられていることや重要と思われる取組などをお伺いしたく、この度「市民生活に関する意識調査」を実施させていただくこととしました。

対象の方につきましては、藤沢市の住民基本台帳に登録されている方の中から、無作為に5,000人を選ばせていただきました。恐れ入りますが、**11月2日(月)まで**に同封の調査票にご記入（代筆可）の上ご返信いただくか、インターネット（パソコン・スマートフォン）にてご回答いただきますようお願いいたします。（インターネット回答の場合は裏面をご覧ください。回答所要時間：約10分）

なお、いただいた回答は、市の施策の評価や見直しのために使用します。回答者を特定することはありません。

市民の皆様の声に基づいた、より良い市政運営のために、ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

藤沢市 企画政策部 企画政策課

〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1

電 話 (0466) 50-3502

ファクス (0466) 50-8436

e-mail fj-kikaku@city.fujisawa.lg.jp

自由記述式アンケート

【20年後（2040年頃）の藤沢市の姿について】

(8) おおむね20年後、藤沢市にどのようなまちになっていてほしいですか？

(回答欄)

例：「子育て環境・教育環境の良さで有名なまち」になってほしい。

「ロボット、AI（人工知能）、ビッグデータなどの最新技術を活用した暮らしやすいまち」になってほしい。 など

【直近4年間に藤沢市が最も重点的に取り組むべきことについて】

(9) 直近4年間（令和3年度から令和6年度）に、藤沢市が最も重点的に取り組むべきことは何だと思いますか？（複数の取組を回答する場合は3つまで）

(回答欄)

例：「新型コロナウイルス感染症対策」に重点的に取り組んでほしい。

「子育て支援の充実」に重点的に取り組んでほしい。

「行政のデジタル化」に重点的に取り組んでほしい。 など

➤ ご回答ありがとうございました。

この用紙も返信用封筒に入れて返送してください。